

あいにくだより

10月



絵本の読み聞かせ



絵本の読み聞かせに「語彙力が高まる」という効果があるのは、普段身近な家族や同世代のお友達が話さないような言葉を絵本から習得できるためです。子どもは、お母さん、お父さん、友達などが話す言葉を耳にし、反復しながら言葉を覚えます。

しかし、子どもと普段交わしているような会話は500種類ほどに限定された単語を組み合わせて行われています。「食べる」「寝る」「お風呂入る」などのシンプルな単語により構成されており、このような言葉を「生活語」といいます。この500種類ほどの「生活語」だけで会話を続けると、その状態に慣れてしまい、新しい言葉との出会いが少なくなってしまう可能性があります。

一方で、絵本には普段の会話で使わない言葉がたくさん含まれているため、子どものボキャブラリーが増えるきっかけになります。絵本の読み聞かせを通して、絵本に出てくる言葉を目と耳で理解することで語彙力が高まり、「話す力」と「聞く力」そして「表現する力」を養うことができるのです。

0歳から1歳までの読み聞かせのコツ：ゆっくり読んで声を聞かせる

0歳から1歳までは本を読み聞かせても、言葉を正確に理解しているわけではありません。本への興味より、読んでいる人の声に興味があると言えます。

1歳までは、本を読み聞かせるというよりは、ゆったりとしたペースで読む声を聞かせることを意識します。そのうちに本を読む声を心地よいと感じ、絵本を読んでもらうことに慣れてくることでしょう。



1歳から2歳までの読み聞かせのコツ：子どものペースで楽しさを伝える

1歳から2歳までの子どもたちは、やっと言葉を理解し始めてきたばかりの状態です。中には、すでに意思疎通がとれるほど言葉を操るような子どももいるでしょう。しかし、本の内容を正しく理解できるレベルに達しているわけではなく、先にページをめくりたがるなど、注意力が十分に発達していません。そんな年齢の子どもたちが理解できるペースで読み聞かせ、本が楽しいと思えるようにしていくことが重要です。



10月のわくわくサークルのお知らせ

わらべ歌



日時

令和7年10月29日（水）
10：00～11：30

場所

西庄公民館 1階和室

持ち物

コップ、お皿、フォーク

ふるさとの親子まつりのお知らせ

日時

令和7年11月2日（日）
10：00～14：30

場所

瀬戸大橋記念公園 芝生広場

内容

ねずみとばし

などその他イベント、出店があります。



愛育会のInstagram



坂出市愛育会